2023/2/7

＜金標準先物、サプライズの雇用統計でドル安の修正・・＞

（出所：オアシス）

週末の雇用統計で非農業部門就業者数が前月の 24 万人増を大きく上回る 51.7 万人増となり、失業率では前月の 50 年ぶりの低水準である 3.5%も下回る 53 年ぶりの低水準となった事から、FOMC や ECB 理事会でポジティブな早期の利上げ停止観測が覆す結果となり、ドル資産の巻き戻しを受けたドル高・金利高の動きに押されて NY 金が 54.2 ドル安の大幅下落を行ない 1874.5 ドルまで下値を試している。そのため金標準先物も雇用統計を機に 1 月 20 日以来の 7850 円まで下値を試している。しかし週明けには、次期日銀総裁候補である雨宮副総裁へ次期総裁の打診が行われたとの報道から為替市場では、黒田日銀総裁の継承者でもあるハト派の雨宮総裁誕生の期待感から週末の 131.19 円から 132.58 円まで 1.39 円を超える円安となり、円建ての金標準先物は 7967 円まで戻りを見せている。

特に今週は、7 日にパウエル FRB 議長がエコノミッククラブでインタビューに応じる予定であり、今回の雇用統計と金融政策について発言する可能性は高く、市場には再度タカ派の発言が予想され、ドル高・円安の動きに再度下値を模索する値動きに注意が必要である。

＜テクニカル＞

金標準先物の日足の MACD や RCI では、MACD が下げながらシグナルを下回り、シグナルも下げだしている。RCI では短期が－63%で下げ止まりながら、長期は+64%で下げだしている。日足が 10 日移動平均線を下回り、40 日移動平均線で抵抗を示すなど 7900 円を維持する事が出来るかに注目されると思える。

2023/2/7

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行って下さい。売買の判断はお客様御自身で行って下さい。

〇商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 2,920,000 円（2023 年 2 月 6 日現在）です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。 〇商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。 〇商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 37,620 円（2023 年 2 月 6 日現在）です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社（商品先物取引業者）の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当（東京）電話 03-3249-8827 （受付時間：平日 8:30～17:30）
証券・金融商品あっせん相談センター https://www.finmac.or.jp 日本商品先物取引協会相談センター https://www.nisshokyo.or.jp